不二ラテックス株式会社
東京都千代田区神田錦町3-19-1　☎（03）3293-5681

第75期 株主通信

2022年4月1日▶2023年3月31日

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。第75期（2022年４月１日～2023年３月31日）の株主通信をお届けいたします。

■ 社長のご挨拶

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ようやく日本でも新型コロナ感染症が一定水準まで抑えられ、本格的なアフターコロナの時代となってまいりました。インバウンド需要は回復傾向にある半面、円安やインフレによる原材料価格の高騰が、多くの企業の収益に影響を及ぼしております。

このような状況の下、当社は前年度の好調な売上高とほぼ同等を維持するとともに、各利益項目においては増益を達成いたしました。

当社は創業以来、一貫して「世界の人々の健康と豊かな暮らしに貢献する」を経営理念として事業展開を図ってまいりました。

これからも更に発展していくであろう人類社会に、より貢献できることを目指し、引き続き「ものづくり力」を磨き上げ、社会とお客様から信頼される企業となれるよう努力してまいります。

株主の皆様には、引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長
近藤　安弘

企業体質の強化と強固な事業基盤の構築

当社は「世界の人々の健康と豊かな暮らしに貢献する」との経営理念に基づく製品造りに注力し、お客様の多様なニーズに迅速・的確に対応するため、新技術・新製品開発へ積極的に取り組んでまいりました。

また、生産設備の整備により生産体制の強化と生産性向上が実現いたしましたが、さらに、総人員の適正配置、間接費用の継続的削減活動の展開等、生産体制の合理化と業務の効率化を継続して推進し、企業体質の強化と強固な事業基盤の構築に努めてまいりました。

医療機器事業が展開する主力のコンドーム事業については、国内市場向けは依然として少子高齢化に伴う市場縮小の傾向が続いており、取扱いアイテムの構成見直しと製造コストの削減による採算強化に取り組んでおりましたが、生産販売体制や新規設備の見直しとともに、設計や製造工程の再構築を通じた「ものづくり力」の強化に着手いたしました。

精密機器事業においては、国内外の製造関連企業を中心とした顧客ニーズに対応すべく、ハイレベルな製品開発、「with コロナ」時代に即した新たな非対面営業による提案営業の試み、ＱＣＤの強化に取り組んでおります。

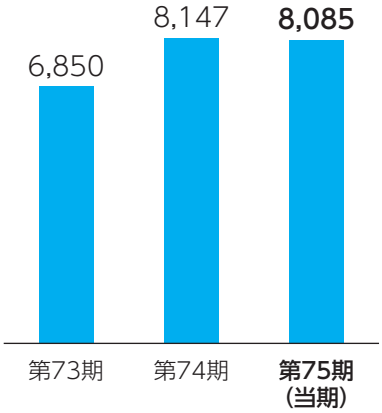
その結果、当連結会計年度の売上高は、8,085百万円と前年同期と比べ61百万円（△0.8%）の減少となりました。

また、利益面につきましては、生産合理化と投資計画の見直しや諸経費の節減を実施したことにより、営業利益は760百万円と前年同期と比べ231百万円（43.8%）の増益、経常利益は730百万円と前年同期と比べ243百万円（50.1%）の増益となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は517百万円（前年同期は142百万円の損失）となりました。

連結財務ハイライト

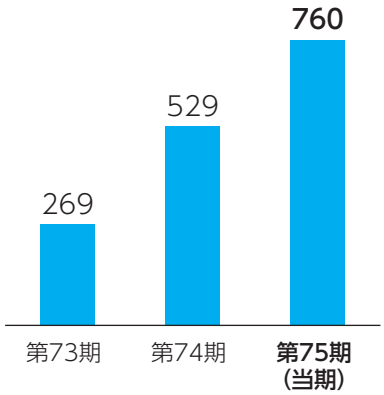
≫売上高（百万円）

8,085百万円



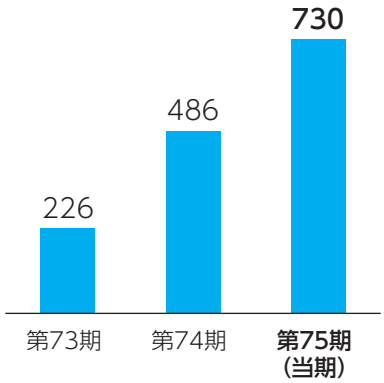
≫営業利益（百万円）

760百万円



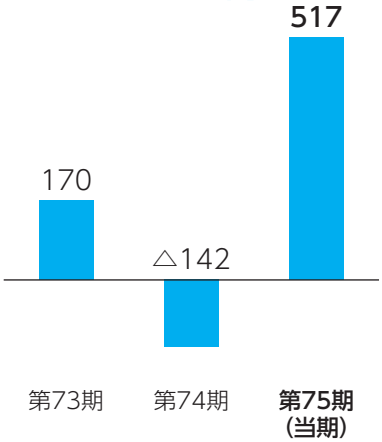
≫経常利益（百万円）

730百万円



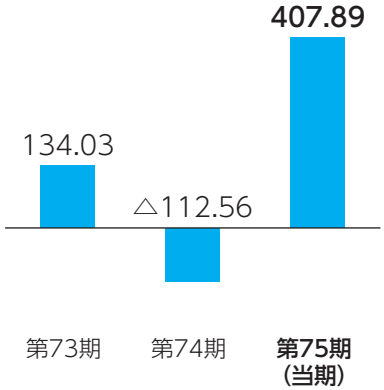
≫親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）

517百万円



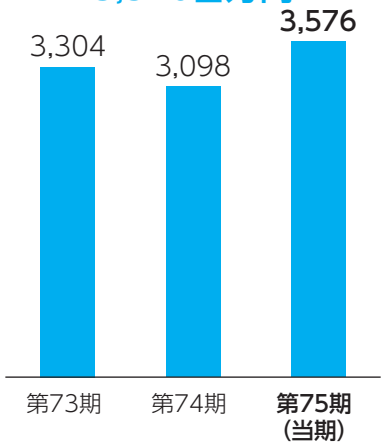
≫1株当たり当期純利益（円）

407.89円



≫純資産（百万円）

3,576百万円

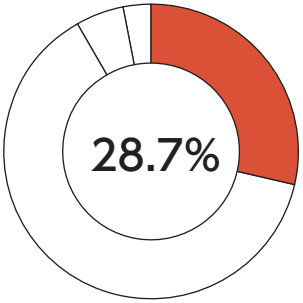


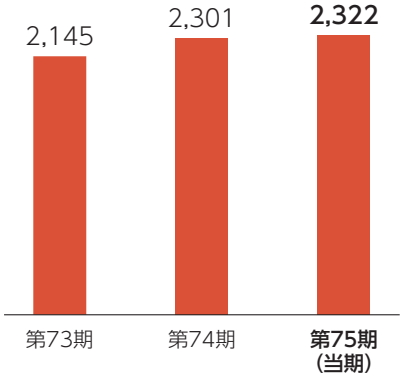
セグメント別の概況

医療機器事業

セグメント別売上高 **2,322百万円**

≫**売上構成**（当連結会計年度）





主力のコンドームは、国内市場においては主要な販売チャネルとしての大型小売店・ドラッグストア等を中心に販路開拓に注力いたしました。また、引き続きネット販売への取組みを強化すると同時に、ドラッグストア、量販店とのタイアップ企画や販促キャンペーンへの展開、ＳＮＳを媒体としたＷｅｂ広告に取り組みました。

新素材コンドームＳＫＹＮの売上が好調であり、欧州向けの販売が好調なメディカル製品とともに事業売上を牽引しました。

利益面では不採算製品の見直し、販売費節減への継続的な取組みに加えて、在庫評価減の戻し入れ要因等もあり、赤字幅が縮小しました。また、メディカル製品につきましては、生産部門・販売部門一体による効率化、費用削減、生産歩留まり向上策により、前期比増益となりました。

この結果、売上高は2,322百万円と前年同期と比べ21百万円（0.9%）の増加となりました。

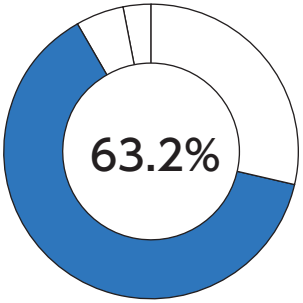
セグメント損失は、103百万円と前年同期（282百万円の損失）と比べて減少しました。

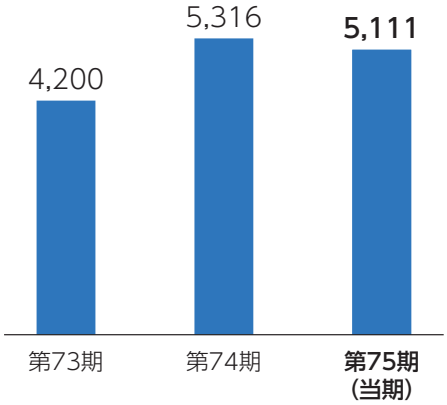
セグメント別の概況

精密機器事業

セグメント別売上高 **5,111百万円**

≫**売上構成**（当連結会計年度）





精密機器事業は国内・海外ともに部材調達難に直面しましたが、年度後半に向けて徐々に解消することができました。海外市場を中心に需要の減速感は出てきたものの、積み上がっていた受注に対応した結果、売上は年間を通して概ね好調に推移いたしました。

部材等のコスト上昇を生産の合理化と販売価格の適正化によりほぼ吸収することができたほか、人員の適正配置や工数削減による製造経費削減、販売費節減への継続的取組みに加えて利鞘の厚い製品の売上構成比が高まったことも奏功し、利益率が改善しました。

この結果、売上高は5,111百万円と前年同期と比べ205百万円（△3.9%）の減少となりました。

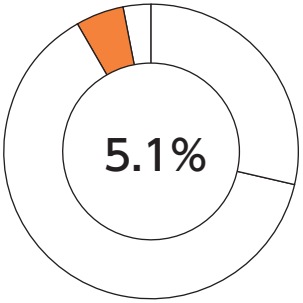
セグメント利益は、1,223百万円と前年同期と比べ36百万円（△2.9%）の減益となりました。

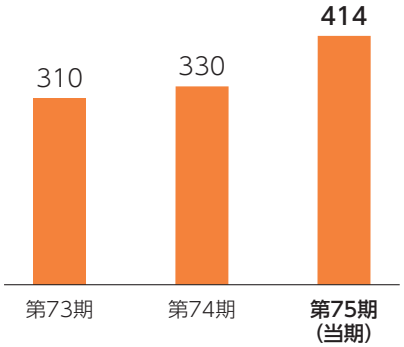
新固定式ショックアブソーバ
FNJ シリーズ
耐久性向上
本体ステンレス仕様
食品機械用潤滑油採用

SP事業

セグメント別売上高 **414百万円**

≫**売上構成**（当連結会計年度）





新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎ、行動制限がなくなったことから、主力販売先に対して企画商品を中心にバルーンの販売が増加いたしました。

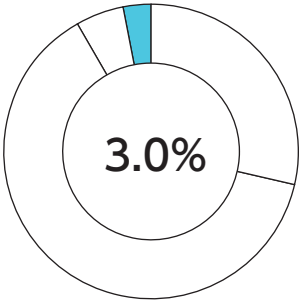
この結果、売上高は414百万円と前年同期と比べ84百万円（25.4%）の増加となりました。

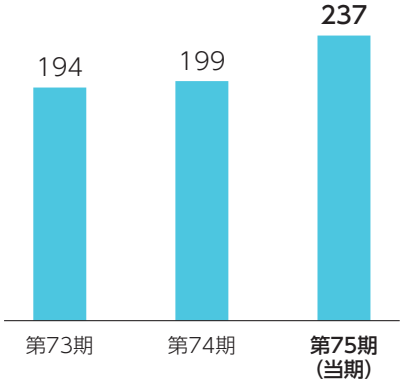
セグメント利益は、売上増もあり16百万円（前年同期は7百万円の損失）となりました。

食品容器事業

セグメント別売上高 **237百万円**

≫**売上構成**（当連結会計年度）





主力販売先との取引が伸びたことにより、売上高は237百万円と前年同期と比べ38百万円（19.1%）の増加となりました。

セグメント利益は、生産効率の改善や販売価格の改定により、69百万円と前年同期と比べ54百万円（372.9%）の増益となりました。

連結貸借対照表

（単位：千円）

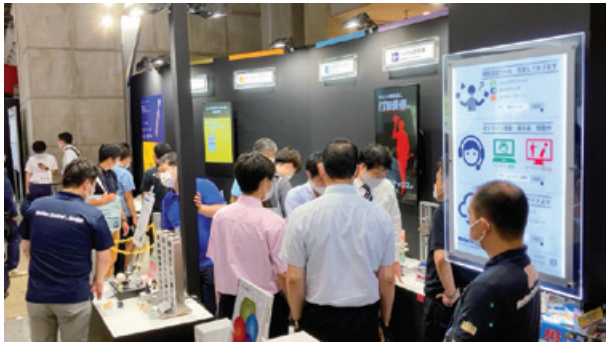
	当連結会計年度 2023年3月31日現在	前連結会計年度 2022年3月31日現在
（資産の部）		
流動資産	6,252,685	6,307,005
現金及び預金	1,939,566	1,905,060
受取手形及び売掛金	1,628,189	1,904,957
電子記録債権	502,922	561,528
商品及び製品	651,649	519,724
仕掛品	598,321	615,852
原材料及び貯蔵品	855,086	730,104
その他	77,177	69,819
貸倒引当金	△228	△40
固定資産	5,214,600	5,489,842
有形固定資産	4,623,254	4,906,503
建物及び構築物	2,357,526	2,508,797
機械装置及び運搬具	168,014	203,345
土地	1,777,718	1,777,096
リース資産	279,814	360,200
建設仮勘定	0	1,657
その他	40,181	55,405
無形固定資産	34,974	46,404
投資その他の資産	556,371	536,935
投資有価証券	343,056	291,949
繰延税金資産	198,285	239,540
その他	15,029	5,445
繰延資産	7,503	10,762
資産合計	11,474,789	11,807,610

	当連結会計年度 2023年3月31日現在	前連結会計年度 2022年3月31日現在
（負債の部）		
流動負債	5,052,164	5,674,368
支払手形及び買掛金	329,415	302,434
電子記録債務	915,493	975,539
短期借入金	2,683,000	2,893,000
1年内償還予定の社債	—	200,000
1年内返済予定長期借入金	341,332	361,332
リース債務	110,321	129,779
未払法人税等	103,933	163,403
未払消費税等	8,945	82,425
未払費用	225,234	260,485
賞与引当金	206,005	198,411
設備関係電子記録債務	20,201	13,219
その他	108,282	94,337
固定負債	2,845,741	3,034,823
社債	400,000	400,000
長期借入金	1,873,856	1,930,188
リース債務	346,927	457,227
再評価に係る繰延税金負債	127,115	127,115
退職給付に係る負債	77,204	69,253
その他	20,638	51,038
負債合計	7,897,906	8,709,191
（純資産の部）		
株主資本	3,157,485	2,704,280
資本金	643,099	643,099
資本剰余金	248,362	248,362
利益剰余金	2,306,628	1,852,738
自己株式	△40,605	△39,921
その他の包括利益累計額	419,397	394,138
純資産合計	3,576,883	3,098,418
負債及び純資産合計	11,474,789	11,807,610

■ 連結損益計算書

（単位：千円）

	当連結会計年度 2022年4月1日から 2023年3月31日まで	前連結会計年度 2021年4月1日から 2022年3月31日まで
売上高	**8,085,388**	**8,147,337**
売上原価	6,064,729	6,324,141
売上総利益	**2,020,659**	**1,823,195**
販売費及び一般管理費	1,259,716	1,293,954
営業利益	**760,942**	**529,240**
営業外収益	50,558	44,279
営業外費用	81,495	87,108
経常利益	**730,006**	**486,412**
特別損失	8,305	549,386
税金等調整前当期純損益	**721,700**	**△62,973**
法人税等合計	204,388	79,821
当期純損益	**517,312**	**△142,795**
親会社株主に帰属する当期純損益	**517,312**	**△142,795**



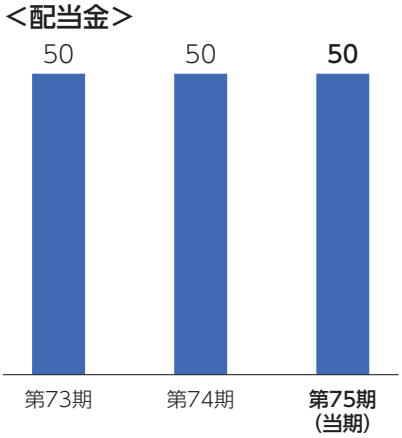
※第27回機械要素技術展の様子（東京ビックサイトにて）

■ 連結株主資本等変動計算書 （2022年4月1日から2023年3月31日まで）

（単位：千円）

	株主資本					その他の包括利益累計額					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	643,099	248,362	1,852,738	△39,921	2,704,280	75,972	288,295	20,204	9,666	394,138	3,098,418
当期変動額											
剰余金の配当			△63,423		△63,423						△63,423
親会社株主に帰属する当期純利益			517,312		517,312						517,312
自己株式の取得				△684	△684						△684
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						32,074		7,666	△14,482	25,259	25,259
当期変動額合計	—	—	453,889	△684	453,205	32,074	—	7,666	△14,482	25,259	478,464
当期末残高	643,099	248,362	2,306,628	△40,605	3,157,485	108,046	288,295	27,871	△4,816	419,397	3,576,883

株主還元



基本方針

当社は株主の皆様への利益還元を最重要経営課題のひとつとして位置付けており、企業体質の一層の充実・強化と将来に向けた積極的な事業展開を推進してまいります。この基本方針のもと、配当金につきましては業績に応じ、また適正な内部留保の充実、新規投資計画を考慮しつつ安定的な配当の継続に努めてまいります。

当事業年度の剰余金の配当

当事業年度の剰余金の配当につきましては、当事業年度の業績及び今後の事業環境や財務内容を総合的に勘案し、当事業年度末日（2023年３月31日）を基準日とする配当金を１株につき50円とさせていただくことを、2023年５月15日開催の取締役会において決議いたしました。

<経営理念>

《我が社の目的》

我が社は世界の人々の健康と豊かな暮らしに貢献し、
人々に喜ばれ信頼される企業になる。

《我が社のあり方》

我が社は優れた製品を創造し、高度な品質管理の下で製造・販売を行い、
収益力の高い企業になる。

《我々の志》

我々は志を高くし、仕事を通じて自己の成長を図るとともに、
協調して会社の発展に尽力し社会に貢献する。

会社概要

会社の概要（2023年3月31日現在）

商号	不二ラテックス株式会社
英文商号	FUJI LATEX CO., LTD.
設立	1949年3月
資本金	643,099,600円
当社HP	https://www.fujilatex.co.jp

1. 当社グループの主要な事業内容

医療機器事業	コンドーム、水枕、プローブカバーの製造及び販売
精密機器事業	緩衝器の製造及び販売
SP事業	バルーン、販売促進用品の販売
食品容器事業	食品容器の製造及び販売

2. 事業所所在地

本社	〒101-0054	東京都千代田区神田錦町3-19-1
大阪営業所	〒532-0011	大阪市淀川区西中島6-7-3
名古屋営業所	〒465-0025	名古屋市名東区上社4-202-5
福岡営業所	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南2-9-11
栃木工場	〒328-0006	栃木県栃木市国府町150
新栃木工場	〒328-0124	栃木県栃木市野中町1276
真岡工場	〒321-4301	栃木県真岡市西田井1402-3
栃木千塚工場	〒328-0135	栃木県栃木市千塚町1705

ドイツ代表事務所

Königsallee 92A　40212 Düsseldorf, Germany

3. 系列会社

不二ライフ株式会社

〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-19-1

FUJI LATEX SHANGHAI CO., LTD.

Room 1113-1115, No.360, Changshou Road, Putuo District, Shanghai, China. 200060

株式の状況（2023年3月31日現在）

1. 概要

発行可能株式総数	3,000,000	株
発行済株式総数	1,286,199	株
株主数	1,647	名

2. 大株主（上位10名）

株主名	当社への出資状況	
	持株数（千株）	持株比率（%）
岡本昌大	155	12.24
岡本和大	143	11.32
岡本明大	124	9.83
岡本和子	104	8.25
不二ラテックス共栄会	65	5.17
岡本正敏	34	2.69
㈱りそな銀行	30	2.37
㈱大木	27	2.17
オカモト㈱	26	2.11
赤松直起	24	1.89

（注）持株数は表示単位未満を切り捨てて表示しており、持株比率は表示単位未満を四捨五入して表示しております。

役員の状況（2023年6月28日現在）

代表取締役社長	近藤安弘	取締役監査等委員	畑山幹男
取締役	金原辰弥	*取締役監査等委員	深沢岳久
取締役	岡本昌大	*取締役監査等委員	大西恭二

＊社外取締役

株主メモ

事業年度	毎年４月１日より翌年３月31日まで
定時株主総会	毎年６月開催
定時株主総会基準日	毎年３月31日
剰余金配当基準日	毎年３月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都中央区日本橋茅場町一丁目２番４号 日本証券代行株式会社
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目２番４号
事務取扱場所 （郵便物送付先）	日本証券代行株式会社　本店 〒168-8620　東京都杉並区和泉二丁目８番４号 日本証券代行株式会社　代理人部
（電話照会先）	電話 0120-707-843
同取次窓口	日本証券代行株式会社の支店及び三井住友信託銀行株式会社の本支店及び全国各支店 （「コンサルティングオフィス」「コンサルプラザ」を除く）
公告方法	電子公告により行います。ＵＲＬは以下のとおりとなります。 （ＵＲＬ　https://www.fujilatex.co.jp） ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京証券取引所

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】
　証券会社の口座をご利用の場合は、日本証券代行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
　証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】
　株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の日本証券代行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

不二ラテックス株式会社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-19-1
03-3293-5681
https://www.fujilatex.co.jp